

重点改革項目Ⅱ 市民や民間とのパートナーシップ・連携の深化

取組項目(中項目)	2 市民との情報共有と市民参画の推進	No.	30				
具体的な取組項目(小項目)	1 市民への情報公開・情報発信、市民との情報共有の徹底した推進	担当課	広報課				
改革実施項目名称(細項目)	変化・多様化する利用者ニーズに対応したホームページ等による情報発信の充実						
現状と課題 (これまでの取組み)	市公式ホームページによる情報発信については、ホームページシステム(CMS)の導入・運用によりユーザビリティ、アクセシビリティの向上を図るとともに、継続的に改善・改修を実施し、より高い利便性の実現を図ってきた。現在のインターネット環境は、スマートフォンの普及やソーシャルメディアの浸透等に伴う利用者のニーズが変化・多様化しており、これに対応した情報発信が求められている。						
事業の目標・目的 (考えられる効果)	≪計画期間の目標≫ ・市公式ホームページの利便性向上及び発信情報の充実を図るとともに、利用者のニーズを把握しつつ新たな情報発信手段の調査検討を行う。 ≪事業の最終目標≫ ・市民との更なる情報共有の推進を図る。 ・本市の魅力を市内外に広く発信する。						
取組の内容	・市公式ホームページの継続的な改善・改修を実施する。 ・ホームページシステム機器等の運用管理及び更新を行う。 ・新たなソーシャルメディア等を活用した情報発信の拡充へ向けた調査検討を行う。						
改革実施概要	取組工程 (具体的な内容)	現状 (平成26年度)	平成27年度	平成28年度	中間目標/ 29年度以降		
			計画	実績		計画	実績
		・市公式ホームページの継続的な改善・改修 ・ホームページシステム機器等の管理運用 ・ソーシャルメディア(フェイスブック)を活用した市内外への情報の発信	・市公式ホームページの継続的な改善・改修 ・ホームページシステム機器等の更新検討 ・ソーシャルメディア等を活用した市内外への情報発信の拡充に向けた調査検討	・市公式ホームページのトップページ改修 ・ホームページシステム機器等の入替検討 ・ソーシャルメディア(フェイスブック)を活用した市内外への情報発信	・市公式ホームページの継続的な改善・改修 ・ホームページシステム機器等の更新実施 ・ソーシャルメディア等を活用した市内外への情報発信の拡充に向けた調査検討	・市公式ホームページ(CMS)用機器の入替に伴う再構築の検討 ・ホームページシステム機器等の更新実施 ・ソーシャルメディア等を活用した市内外への情報発信手段の拡充	・市公式ホームページの継続的な改善・改修 ・ホームページシステム機器等の管理運用 ・ソーシャルメディア等を活用した市内外への情報発信の拡充に向けた調査検討
指標	市公式HPアクセス数	277万件/月	280万件/月	298万件/月	285万件/月	296万件/月	290万件/月

進捗管理	取組の状況	(各年度10月に実施)	平成27年度	平成28年度	※平成29年度上半期に計画期間の中間評価を実施する。
		上半期 (4~9月)	・市公式ホームページトップページの改善に向けた調査検討 ・市公式ホームページ施設案内ページの掲載情報充実に向けた改善の実施 ・ホームページシステム機器等の更新準備 ・ソーシャルメディア等を活用した市内外への情報発信の拡充に向けた調査検討	・市公式ホームページ(CMS)用機器等入れ替えに伴う再構築の検討 ・ホームページデータベースシステム用機器等の更新実施 ・各区公式アカウントの開設および「マチイロ」「マイ広報紙」の導入による市内外への情報発信の拡充	

年度評価	取組工程、指標に対する評価	(年度終了後に実施)	平成27年度	平成28年度
		市公式ホームページのトップページを目的の情報へたどりつきやすいデザインに改修し、利便性を向上させることができた。 市公式ホームページのアクセス数は、スマートフォン等の急速な普及もあり、指標を上回った。	B	市公式ホームページにおいて、一部情報構成を見直し、よりたどりつきやすいように改善した。アクセス数はスマホ版の上昇もあり、指標を上回った。 各区SNS公式アカウントの開設および「マチイロ」「マイ広報紙」の導入により、市内外への情報発信手段を拡充した。
	課題、今後の方針、改善事項など		ホームページシステム機器等の更新に向けて計画的に調査・検討を行う必要がある。	市公式ホームページ(CMS)用機器の更新に係るシステム再構築を計画的に進める。

計画期間の中間評価	取組工程、指標に対する評価 (指標の適正性等)	(平成29年度に実施)	中間評価	平成29年度以降
		市公式ホームページの継続的な改善・改修により、全国広報コンクールウェブサイト部門で総務大臣賞・読売新聞社賞を受賞した。アクセス数については、スマートフォン等の急速な普及もあり、指標を上回った。 ソーシャルメディアやアプリの活用により、情報発信手段の拡充を実施した。	B	利用者の利便性向上と情報発信の充実を図るため、引き続き、市公式ホームページの継続的な改善・改修を行うとともに、ソーシャルメディア等の情報発信について検討する。
	課題、今後の方針、改善事項など		市公式ホームページ(CMS)用機器の更新に係るシステム再構築に伴い、現ホームページが抱える訴求対象の明確化などの課題を解消するとともに、より魅力的なデザインへ改修し、発信力の向上を図る。	

重点改革項目Ⅱ 市民や民間とのパートナーシップ・連携の深化

取組項目(中項目)	2 市民との情報共有と市民参画の推進	No.	30				
具体的な取組項目(小項目)	1 市民への情報公開・情報発信、市民との情報共有の徹底した推進	担当課	広報課				
改革実施項目名称(細項目)	変化・多様化する利用者ニーズに対応したホームページ等による情報発信の充実						
現状と課題(これまでの取組み)	市公式ホームページによる情報発信については、ホームページシステム(CMS)の導入・運用によりユーザビリティ、アクセシビリティの向上を図るとともに、継続的に改善・改修を実施し、より高い利便性の実現を図ってきた。現在のインターネット環境は、スマートフォンの普及やソーシャルメディアの浸透等に伴う利用者のニーズが変化・多様化しており、これに対応した情報発信が求められている。						
事業の目標・目的(考えられる効果)	≪計画期間の目標≫ ・市公式ホームページの利便性向上及び発信情報の充実を図るとともに、利用者のニーズを把握しつつ新たな情報発信手段の調査検討を行う。 ≪事業の最終目標≫ ・市民との更なる情報共有の推進を図る。 ・本市の魅力を市内外に広く発信する。						
取組の内容	・市公式ホームページの継続的な改善・改修を実施する。 ・ホームページシステム機器等の運用管理及び更新を行う。 ・新たなソーシャルメディア等を活用した情報発信の拡充へ向けた調査検討を行う。						
改革実施概要	取組工程(具体的な内容)	現状(平成26年度)	平成29年度	平成30年度	最終目標/31年度以降		
			計画	実績		計画	実績
		・市公式ホームページの継続的な改善・改修 ・ホームページシステム機器等の管理運用 ・ソーシャルメディア(フェイスブック)を活用した市内外への情報の発信	・市公式ホームページの継続的な改善・改修 ・新ホームページシステム機器等の管理運用 ・ソーシャルメディア等を活用した市内外への情報発信の拡充に向けた調査検討	・市公式ホームページ(CMS)用機器の入替実施及びホームページシステムの再構築実施 ・市魅力発信サイト「スキマ時間の楽しみ方」を新設 ・PR TIMESを活用した市内外への情報発信手段の拡充	・市公式ホームページの継続的な改善・改修 ・新ホームページシステム機器等の管理運用 ・ソーシャルメディア等を活用した市内外への情報発信の拡充に向けた調査検討	・市公式ホームページの継続的な改善・改修 ・新ホームページシステム機器等の管理運用 ・ソーシャルメディア等を活用した市内外への情報発信の拡充に向けた調査検討	
指標	市公式HPアクセス数	277万件/月	290万件/月	307万件/月	295万件/月	284万件/月	300万件/月

(各年度10月に実施)		平成29年度	平成30年度
進捗管理	取組の状況	上半期(4~9月) ・市公式ホームページ(CMS)用機器等入れ替えに伴う再構築業務の上半期作業工程実施 ・新CMS用機器の調達完了 ・ソーシャルメディア等を活用した市内外への情報発信の拡充に向けた調査検討	予定通り進捗 ・「緊急災害情報の発信」など各部署と連携した改善の検討 ・新ホームページシステム機器等の運用管理 ・ソーシャルメディア等を活用した市内外への情報発信の拡充に向けた調査検討

(年度終了後に実施)		平成29年度	平成30年度
年度評価	取組工程、指標に対する評価	市公式ホームページトップページを利用者の属性や目的ごとにエリア分けしたレイアウトに変更し、情報へのたどりやすさを向上するとともに、市の魅力を強く発信するレイアウトに一新した。また、交流人口増加に向け、魅力発信サイトを新設した。さらに、トップページにしか表示されていなかった「緊急情報」、「注目情報」に全ページからアクセスできるよう改善した。スマホ版については全面改修を行い、視認性・操作性が向上した。上記ホームページのリニューアルにより、全国広報コンクールウェブサイト部門で入選・読売新聞社を受賞した。アクセス数は指標を上回った。	・平成29年度中にリニューアルした市公式ホームページが、より効果的に情報発信できるように、コンテンツ管理者等を対象にした操作研修等を実施した。 ・トップページのブランディングエリアは、常に新鮮な情報・画像となるように更新し、視認性の向上等を図った。また「市からのお知らせ」エリアは、市民生活に関連する情報収集に努めて掲載した。 ・ソーシャルメディアを活用した情報発信では、広報課で運用するフェイスブックを活用し、職員が当番制でお出かけ情報や市政情報など年間268件投稿した。
	課題、今後の方針、改善事項など	魅力発信サイトの情報の拡充に向けた運用の調査・検討。より利用者に伝わるホームページにするための各所属とのさらなる連携。	横ばい状態にある魅力発信サイト「スキマ時間」のアクセス数の向上を図るため、各所属との連携を図り、掲載内容の更新が必要。

		計画期間の評価	平成31年度以降
計画期間の評価	取組工程、指標に対する評価(指標の適正性等)	「新潟市行政改革プラン2015」計画期間中の平成29年度に市公式ホームページのリニューアルを行った。利用者の利便性向上を図るため、トップページを利用者の属性や目的ごとにエリア分けしたレイアウトに変更して情報を探しやすいようにしたほか、交流人口の増加を図るため、市魅力発信サイト「スキマ時間の楽しみ方」を新設した。以上のことから、アクセス数は、本計画当初実績(277万件/月)に比べて増加した。	C
	課題、今後の方針、改善事項など	ホームページアクセス数は、ある程度横ばい状態になっているなか、スマートフォン版のアクセス数は毎年増加傾向にあるため、スマートフォン利用者を意識したホームページ作成やソーシャルメディアによる情報発信について検討する必要がある。	・スマートフォン利用者を意識したホームページ作成とソーシャルメディアによる情報発信を行う。 ・新防災システムと市公式ホームページシステムの連携を円滑に行う。